福津市新設小学校基本設計
ワークショップニュース　No.3

2023 年 10 月 発行

新しい学校づくりに向けた話し合いを進めています。

宮司地区に建設準備中の新設小学校の基本設計の第２回地域ワークショップを９月１６日に宮司コミュニティセンターで開催。３連休初日の開催でしたが、関連する小・中学校の教員や児童・保護者、地域住民、公募の２５人が参加し、「学校の使い勝手を考える」というテーマで話し合いました。

第２回地域ワークショップ内容　テーマ「学校の使い勝手を考える」

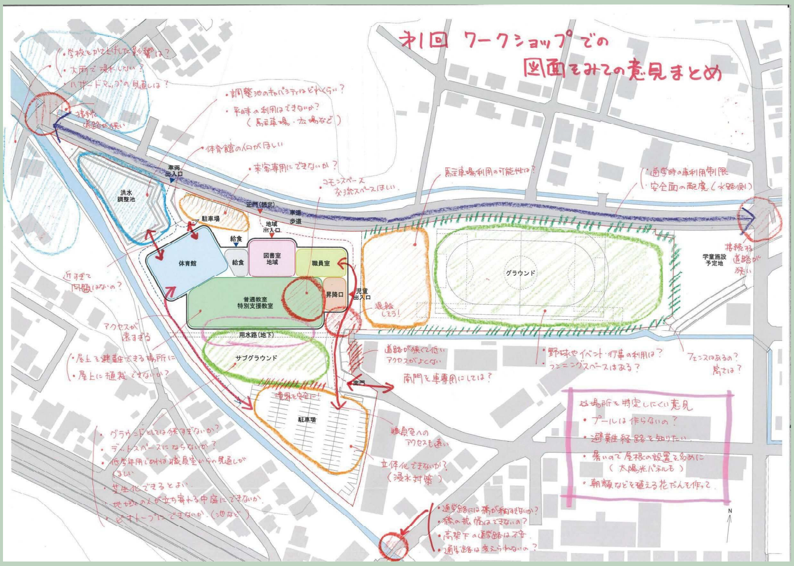
① 第１回の振り返り
② 図面を見ながら意見交換
③ 講演「新しい時代の学校づくりの課題と事例」
④ 興味があるテーマに分かれ意見交換

◆① 第１回の振り返り◆

第１回ワークショップでの図面を見ての意見まとめ

＜意見の一例＞

- 体育館専用の入口が欲しい。
- 駐車場とサブグラウンドの境界は安全にして欲しい。
- 北側の拡幅する道路は児童が通学路として使うため、車との安全面に配慮して欲しい。
- グラウンドで野球やイベント、行事の利用はできるのか。
- 花壇を作って欲しい。
- 共有空間に交流スペースが欲しい。



◆② 図面を見ながら意見交換◆

参加者（各テーブル）から出た意見「学校の使い勝手を考える（１）」

＜意見の一例＞

- 教室前のオープンスペースは掲示ができるような多目的に使えるスペースにして欲しい。
- 職員室の近くに相談室は必要なので計画のまま残して欲しい。
- 大階段で記念撮影できるのはとてもいいと思う。
- 雨の日に遊べる場所を作って欲しい。

第１回の意見を基にした図面を見ながら話し合う参加者

◆③ 講演「新しい時代の学校づくりの課題と事例」◆

講演　「新しい時代の学校づくりの課題と事例」
講師　東洋大学名誉教授　長澤悟
内容　・新しい時代の学校づくりとは
・普通教室や特別支援教室、特別教室、職員室、トイレなどエリアごとの課題と事例
・最新の学校事例紹介

長澤悟先生による講演会の様子

◆④ 興味があるテーマに分かれ意見交換◆

参加者（各テーブル）から出た意見「学校の使い勝手を考える（2）」

テーマ１：教育環境

<意見の一例>

- 多目的トイレは目立たない場所にして欲しい。
- 図工室は騒音が発生するので近くに配置する教室に注意が必要。
- 学年を越えた交流ができるようにして欲しい。
- 学年ごとのトイレは使いやすいと思う。
- 遊具を充実させて欲しい。

テーマ２：地域との交流

<意見の一例>

- 植栽が少ないので緑化して欲しい。工事中から地域のかたが植栽に関わることで愛着を持てる小学校になる。
- グラウンドスペースは花壇や遊具等運動以外の利用も計画して欲しい。
- 学校菜園以外に､地域の菜園を設けて欲しい。
- シンボルツリーを計画して欲しい。

テーマ３：外構関連

<意見の一例>

- 児童の送迎車が溜まれる場所が必要ではないか。
- 敷地周囲だけではなく通学路全体で安全対策を図って欲しい。
- 敷地を造成した後のハザードマップを早めに公開して欲しい。
- 工事車両や給食搬送車両の動線を考慮した計画にして欲しい。
- 屋上も避難場所として利用できないか。

興味があるテーマに分かれ、より深く話し合う参加者

■今後のワークショップの予定■

臨時開催　第 2.5 回予定　11 月上旬頃
テーマ (仮)：建物の使い方を考える

第 3 回 (最終) 予定　12 月中旬頃
テーマ (仮)：プランについて意見交換しよう③

■お問い合わせ■

福津市教育委員会　教育総務課
TEL：0940-62-5092
FAX：0940-43-9004
Mail：kyoiku@city.fukutsu.lg.jp